ス　環境学習関連事業

市町村名	名　　称	内　　容
千　葉　市	千葉市環境保全・創造の意欲の増進及び環境教育の推進に関する基本方針	H17年３月策定 市民、事業者、学校、地域、民間団体、市などの各主体が、環境保全･創造の意欲の増進、環境教育及び環境保全活動を進めていく上での方向性を示すとともに、それを推進するために市が進める施策の方向性を明らかにする。
	環境学習モデル校指定事業	学校における環境学習の推進を図るため、市内の小学校６校及び中学校６校（各区１校）を環境モデル校として指定し、環境保全に関する各種の活動を実践してもらう。
	環境学習指導者養成講座	地域における環境学習や環境保全活動を率先して行えるリーダーを養成するための講座を開催した。初級コース（４日間）とステップアップコース（６日間）（各コース定員30名）を実施した。
	エコ体験スクール	小学生を対象に、民間団体を活用した参加体験型の環境学習を開催した。定員40人で６コース（各行政区で１コースずつ）。
	ちばし環境フェスティバル	「環境月間」・「環境の日」の趣旨について広く市民に普及啓発を図るため、記念講演会や、市民団体や企業などによる「ちばし手づくり環境博覧会」を実施した。
	環境情報紙「エコライフちば」	一般市民を対象とした環境情報紙「エコライフちば」を年４回（各26,000部）発行した。
	環境教育教材等作成事業	小学校（4～6 年生）を対象とした「ちばキッズエコ調査隊エコエコ大作戦」及び中学生を対象とした「中学生のための環境学習ハンドブック」を作成し、配布した。（各10,000部作成）
	ごみ分別スクール	小学校４年生を対象に、３Ｒ等についての参加体験型環境学習を開催する。
	リサイクル教育図書発行	幼児用教育図書「ごんごんみーら」と小学校低学年用教育図書「ボーノのふしぎなぼうし」を作成し配布する。
銚　子　市	市民ふれあい講座「ごみの出し方・分け方・リサイクルについて」	市民・学校からの要望により、生活環境課から講師（職員）を派遣し出前講座を実施（参加人数70人）
市　川　市	自然観察案内人養成講座	行徳近郊緑地をフィールドとする野鳥を中心とした自然のあり方を理解し、人に伝えられる技能を習得することを目的に実施している。19年度は入門編・学習編・実践編の各講座を計12回開催した。
	いちかわ環境フェア	市民を対象に環境に関する意識の高揚と知識の普及を図るため開催している。
	いちかわこども環境クラブ	小中学生の自発的な環境学習を支援するために運営している。それぞれが目標を決めて行うグループ活動のほか、全体活動として発足式・活動発表会・親子環境教室などを行っている。H20年３月末日現在、41団体1,295名。
	環境活動リーダー養成講座	環境学習を自主的に進める市民リーダーの養成を目的として開催している。H19年度は９名が講座を終了した。
	市民環境講座	環境問題を身近な問題としてとらえてもらうための講座を実施している。H19年度は５回開催し、89名参加。
	親子環境講座	親子が一緒に学び体験するプログラムを実施している。H19年度は２回開催し、36人が参加。
	施設見学会	環境月間に環境に配慮した事業活動に取り組んでいる企業の施設見学会を実施している。H19 年度は、「安全でおいしいものをつくるには…工場の工夫を知ろう！」をテーマに、しょうゆメーカーと飲料メーカーを見学した。44人が参加。
	小中学校における環境学習の支援	小中学校における環境学習を支援するため、パンフレットやプログラムの作成、教材の貸出、講師の紹介などを行っている。H19年度に支援した活動は５回。127人に支援。
	三番瀬エコツアー	船で三番瀬を訪れ、そこで行われている漁業と水鳥を中心とした自然の姿を通して三番瀬の現状を知るとともに、自然環境の保全再生について理解を深めることを目的に計３回実施した。
	事業者に対する環境学習	環境問題への取り組みを推進するため、企業と行政で情報の共有を図っている。H19年度は、環境保全協定締結事業者のうち環境保全に関して優れた成果をあげた事業者４社を表彰しました。
船　橋　市	セミのぬけがら調査	夏の代表的な昆虫であるセミのぬけがらの調べ方を学ぶ入門コースと公園のぬけがらを調べる実践コースを実施した。（H20年度）入門２回/62名、実践59名　115千円。
	船橋環境フェア	市民・企業・行政が一体となって環境意識向上を図るため、日頃の活動のパネル展や体験実演、発表会等を行うほか、市本庁舎内で環境パネル展を実施。（H20年度）約4,100人、478千円。
	自然散策会	H15年度に作成した「ふなばし自然散策マップ」を使い、マップ作成者と共に自然散策を行う。H16年度より年３回実施。（H20年度）各回約20～30人、43千円
	三番瀬生き物調査	貴重な干潟である三番瀬に住む生き物に触れることにより、干潟の自然浄化能力や生態系について学び、身近な自然への関心を深め、もって自然環境保全思想の醸成を図る。（H20年度）36人、36千円。
館　山　市	三角コーナー用水切り袋配付事業	小学校４年生に水切紙を配布し家庭雑排水の浄化を働きかける。
	環境美化ポスター募集	市内小学生より募集し、最優秀賞を翌年の環境美化カレンダーに掲載。（応募点数509点）
	市内一斉清掃	５月に市民とともに散乱ごみの収集をし、ポイ捨禁止を呼びかける。（4,500人参加）
木　更　津　市	リサイクルフェア	ごみの減量・リサイクルの推進を目的に、H19年10月14日木更津市民総合福祉会館駐車場にて開催。参加人数約4,000人、リサイクル促進ポスターコンクール、フリーマーケット、リサイクルクイズ等を実施。
	環境学習	自治会等からの依頼により環境学習を実施。参加人数約90人。 小学校に講師を派遣し、環境学習を実施。２小学校３クラス。
松　戸　市	（財）松戸みどりと花の基金野鳥観察会	野鳥は自然のバロメーターといわれているが、その野鳥を知ることで野鳥と自然とのかかわりを深く認識してもらうことを目的として、市内及び県内で講師３名により実施している。
	ごみツアー	清掃施設を広く市民に見学してもらい、清掃事業に対する関心と理解を深める。（H19年度　390名参加）
	親子が水辺で集う日	環境月間である ６ 月に河川に親しんでもらうと共に河川愛護の精神を高めることを目的に環境イベントを実施する。（H19年度　500名参加）
	河川見学会	公募により河川見学会を開催し環境について学習を行う。（H19年度１回実施　26名参加）
	水環境学習	市内小中学校・団体の依頼により実施（H19年度　４回実施　延694名参加）
	環境学習講座	①地球温暖化問題等についての出前講座 小・中学校対象　10回実施、一般団体対象　９回実施（H19年度） ②ごみ減量・分別についての出前講座 小・中学校対象　２回実施、一般団体対象　９回実施（H19年度）
茂　原　市	体験型環境学習講座「地球温暖化について学ぼう～わたしたちにできること」	H20年８月１日実施 市民団体ストップ地球温暖化長生、教育委員会と共催。講座と体験型環境学習のカリキュラムを実施し、意見交換を行った。 県派遣講師１名、中学生37名、スト温長生６名、教職員３名　予算額０円

市町村名	名　　称	内　　容
成　田　市	環境関連講演会	講師を招き、環境保全についての講演会を開催する。 H20 年度　講師「崎田裕子氏」　テーマ「循環型社会をつくる、私たちの一歩～誰でもできる、ごみダイエット～」参加人数：124 人
	屋形船による印旛沼自然観察会	屋形船に乗船し、印旛沼に直接触れて楽しむことにより、沼の実態を市民に知ってもらう。 H20 年度参加人数：45 人
	坂田ヶ池親子自然観察会	豊かな自然と水に親しめる坂田ヶ池総合公園（成田市大竹）において、こどもを対象とした自然観察会を開催することにより、自然に触れ合う楽しさと自然環境保全の大切さを学習してもらう。 H20 年度参加人数：21 人、開催日：H20 年 10 月 25 日
	リサイクル教室・フリーマーケット	一般廃棄物の減量化、資源化啓発のため、リサイクルプラザにおいてリサイクル教室・フリーマーケット等を開催する。H19 年度 9 回開催。
佐　倉　市	水辺観察会	市内の水辺環境について、講義及び野外活動を実施。（H19 年度　2 回実施　26 名参加）
	印旛沼公開講座「温故知新 - 植物生態 - 」	印旛沼周辺の植物生態について（H19 年度　3 回開催　延べ 171 名参加）
東　金　市	アースセレブレーション	環境ウォークラリーや環境展覧会（環境イラスト展、各種展示）を通じ、市民の環境意識の向上を促す。
	自然観察会	自然観察グループ「ときがねウォッチング」のガイドで冬の野鳥観察やネイチャーゲームなどを行う。
	Ｋｉｄｓ ＩＳＯ説明会	Ｋｉｄｓ ＩＳＯの意義を理解してもらうために、市内小学校 5･6 年生を対象として地球温暖化についての説明会を実施する。
旭　　市	まちづくり出前講座「ごみの減量とリサイクル～身近なことから始めよう」	市民（10 人以上で構成された団体、グループ等）からの要望により、環境課から職員を派遣し出前講座を実施する。
習志野市	小学生の環境施設での環境学習	市内全 16 小学校の 4 年生を対象に、市内の環境関連 3 施設の環境学習を実施している。H19 年度は、清掃工場・リサイクルプラザにおいて「ごみ処理とリサイクルの現状」を、谷津干潟自然観察センターでは「ラムサール条約と干潟の生き物」についての学習を実施した。
	自然観察会	市民が自然環境保全の大切さを認識し、自然保護意識の高揚を図ることを目的に、自然観察会を開催している。
	2008 習志野市市民環境大学～3 大学連携講座～	一般市民を対象として、本市に立地・隣接する千葉工業大学・東邦大学・日本大学生産工学部の 3 大学との協働により、1 年目は『地球温暖化』をテーマに全 7 回の講義を開催。参加者人数 120 名
柏　　市	リサイクルフェア	H20 年 10 月 5 日実施 内容：フリーマーケット、リサイクル作品コンテスト、模擬店でのリユース食器の利用
	手賀沼流域フォーラム	H19 年 7 月 28 日（土）に千葉県、流域自治体、市民団体との連携により手賀沼親水広場で開催。手賀沼浄化に向けて、手賀沼を知る、ふれる企画として、パネル展示や体験イベントなどを行った。
	手賀沼船上探鳥会	手賀沼に生息、飛来する野鳥の観察をとおして、自然環境の保全への意識高揚を図る。 参加者 30 名柏市環境ステーションへ委託。
	はじめよう！ストップ温暖化展	H19 年 5 月 29 日（火）から 6 月 4 日（月）まで、そごう柏店 8 階連絡通路で開催。地球温暖化に関するパネル展示など。
	柏の水辺めぐり	地域の環境問題に対する意識高揚を図り、手賀沼や流域河川の浄化のため手賀沼船上見学や、浄化関連施設の施設見学等を実施。72 回　2,382 人
	学校ビオトープの整備	市内の学校内に環境学習・活動の拠点となるビオトープを整備している。
勝　浦　市	特別公開講座	4 回実施し、環境問題に関するテーマで講座を開催した。
市　原　市	エコフェアいちはら	市原市環境の月のメイン行事として環境啓発映画、各種団体による環境保全活動内容の紹介、フリーマーケット等を実施。H20 年 6 月 14 日（土）開催。来場者数約 5,000 人、予算額 1,250 千円。
	臨海部工場見学	市内小学生を対象に実施。H20 年度参加人数 924 人。
	自然観察会	巨木めぐり、ホタル観察会、子ども昆虫教室、いちはら自然教室、野鳥観察会、スターウォッチングを実施。 H20 年度参加者数計 207 人
	水辺の観察会	養老川に生息する水生生物などを観察して水辺に親しむ。H20 年度参加人数 47 人。
	市原市環境学習基本方針	H20 年 2 月策定。 環境学習の推進に向けて「環境を自らの課題としてとらえ、その解決に向けて行動できる人づくり」を目指す。
	市原市こども環境サミット	H20 年 6 月 14 日（土）実施。参加人数：100 名。内容：環境活動発表、講師と児童による話合い、約束宣言。
	市民環境大学いちはら	H19 年 11 月 10 日開校。全 7 回。参加人数：約 100 名。内容：市全域をエコキャンパスとして活用し、自然環境やクリーンエネルギー等について学ぶ。
	環境保全推進絵手紙展	環境をテーマにした絵手紙を市内在住、在勤、在学者から募集し、入賞者を表彰する。
	夏休みリサイクル見学会	小学生を対象に、市内のリサイクル施設等の見学を通じ、ごみの減量とリサイクルの必要性を実感してもらう。
流　山　市	環境シンポジウム流山	H19 年 10 月 21 日（日） 参加人数　282 人 シンポジウム、パネル展示会及びふれあい自然観察会を実施。
八千代市	こども環境学習	小学校 5・6 年生を対象に自然の仕組みや尊さを学ぶため、実際の体験を含めた学習を 2 日間行なった。参加者 30 名（H20 年 7 月 23 日、24 日実施）
	環境モニター施設見学会	環境モニターによる環境施設の見学会を行い、環境意識の高揚を図る。参加者 28 名（H20 年 8 月 19 日実施）
	昆虫展	水辺の自然環境調査（H14 年 3 月）時に採取した昆虫標本の展示。（H20 年 7 月 30 日～8 月 7 日まで実施） 来場者 279 名・期間中に 2 日間(8 月 2 日、5 日）学習会を開催した。参加者計 40 名
我孫子市	手賀沼船上学習	手賀沼の現状を知るとともに、自然への関心向上のため、市内小学校 5、6 年生を対象に実施している。
	手賀沼ふれあい船上見学会	一般市民を対象とした船上見学会を実施し、手賀沼に対する理解を深め、浄化に対する意識の高揚を図る。
	水辺の環境学習	夏休み期間中、小･中学生を対象に様々な環境学習会を実施。H19 年度は 7 回実施、参加者 214 人。H20 年度は 6 回実施、参加者 115 人。
	環境配慮指針学習会	環境にやさしい生活のための啓発事業として市民講座を実施。 H19 年度参加者 57 名（2 回実施分）
鴨　川　市	環境ポスター展	市環境週間中に、市内小学生が作成した環境ポスターを展示。
	施設見学会	市内小学生のごみ処理施設、し尿処理施設の見学会。

市町村名	名　称	内　容
鎌ケ谷市	こども環境学習講座	小学生を対象とした環境保全啓発事業として実施。
	市民環境講座	成人を対象とした環境保全啓発事業として実施。
	講師派遣事業	市職員を環境学習会の講師として派遣。
	環境展	環境月間の６月に、環境保全意識向上を図るため、市民環境団体、事業所、行政による啓発パネル等の展示やワークショップを実施。かまがやエコかるた採用作品作成者の表彰式とかるた大会もあわせて開催。
君津市	環境フェア	リサイクル推進ポスター展、剪定木堆肥試供品配布、ビデオ上映（地球温暖化防止、広域ゴミ処理施設など）。水と大気の調査状況・放置自動車の現状などの展示。
	消費生活展	生ゴミ処理機、ビン類リサイクル等の展示
	学校版ＩＳＯ認証事業	H18年４月から実施 本制度は、市内の小・中学校でＩＳＯ１４００１に準じた取り組みとして、環境方針を定め、行動内容・役割分担などを計画・行動・点検・見直しの仕組みが構築され、学校の自主的な環境配慮の取り組みを奨励。
富津市	エコスクール	環境についての学習会　参加人数30名
浦安市	環境フェア	市民に環境問題を身近なものに感じていただくための啓発を目的とし、一人ひとりが自発的に環境保全活動に取り組む機会となるよう啓発を行う。
	環境ポスター展	市内小・中学生を対象に、環境全般に関するポスターの募集及び展示をする。
	環境学習	市民の環境問題などについての意識を高め、自ら進んで環境に配慮した行動を学んでいくための環境学習関連講座を行う。（環境学習、自然体験講座など）
袖ケ浦市	暮らしと環境を考えようin袖ケ浦	市民と事業者・行政が一体となって環境イベントを開催し、地域における環境保全活動のあり方について問題提起、環境問題への取り組み方を紹介。
	環境学習講座	年４回　環境に関するテーマについて　参加者毎回約30人
	自然散策会	（年２回　袖ヶ浦市内　参加者毎回約30人）
印西市	印西市自然探検隊	市内の自然環境とそこに生息する生物の実態を知ってもらい、市民の環境保全に対する意識の高揚を図る。
	ごみ処理施設見学会	ごみの処理施設及びリサイクル中間処理施設の見学会を開催することによって、ごみ減量化・資源化に対する市民意識の高揚を図る。
白井市	環境学習講座	市民の環境保全意識の高揚及び環境学習の充実を図ることを目的に、自然環境の保全など環境に関するテーマを定め学習する講座を開催する。参加人数等：5講座160名
	第６回環境フォーラム	H20年２月９日開催　テーマ：「自らの手で守ろうふるさと白井の自然と環境」 ～はじめよう！エコ生活～ 内容：基調講演、事例発表、パネルディスカッション
	小学生環境家計簿	環境学習の一環として、こどもエコノートを作成し、小学校3年生に配布。
	小学生と福祉作業所の生徒との協働学習	水質浄化学習としてＥＭ団子を作成し、金山落に投入。水質浄化経過を観察する。
富里市	クリーンセンター見学会	市クリーンセンターの施設を見学する。（随時実施）
	環境美化ポスター展	小学校５年生を対象に環境美化に関するポスターの募集と展示を行う。
	夏休みちびっ子リサイクルセミナー	小学4～6年生を対象に環境学習を通じてリサイクルの知識の習得を図る。
南房総市	市民環境大学	様々な環境問題に対する学習及び日常生活等における環境活動の実践を促進するとともに、「エコリーダー」として環境ボランティアへの参加や普及の役割を担う人材を育成する。（H20年度　参加者74人、予算1,242千円）
	環境学習会（一般市民向け）	一般市民や事業者を対象に、身近な環境問題について市民が参加しやすい休日を利用し、学習会を実施。（H19年度　54名参加）
	環境学習会（小・中学校向け）	学校環境学習として、H20年度より小・中学校に千葉県環境学習アドバイザー等の講師を派遣し、環境学習を行っている。
	東京電力㈱環境・エネルギー講座開講	東京電力㈱の協力で、市内小学4～6年生を対象に、『環境・エネルギー講座』を実施している。
	環境ポスターコンテスト	市内小学4～6年生を対象に環境ポスターを募集し、コンテストを実施。入賞作品22点を公共施設に展示し、市民等に啓発・推進を行う。入賞作品は、市が作成するエコライフカレンダーに掲載する。（H20年度　671人参加、予算150千円）
香取市	香取市環境フォーラム2008	H20年６月８日開催 テーマ：一人からみんなへ　地域から地球へ　広げる環境保全ネットワーク 内容：講演、事例発表 同時開催イベント：低公害車展示・試乗、フリーマーケット、環境標語展示、環境パネル展等
いすみ市	環境学習会	市民を対象に環境への認識をより深めていただくための環境学習会やボランティア活動等を実施する。
多古町	環境学習講座	幼稚園児及び保護者を対象にゲームを交えながらごみ分別講座を実施。学校及び団体の要望により環境学習、ごみ分別講座を実施。
	ごみ分別隊	中学生に町のイベント時、会場内の清掃、会場内のごみステーションで９種類の分別をし、来場者へ指導してもらう。活動を通してごみ分別を学び、リサイクルへの関心を深めることを目的とする。
東庄町	環境セミナー	町民一人ひとりが自然環境の保全に関心を持ち、自然を自らの手で守る意識を啓発することを目的としてセミナーを開催する。参加人数45名。
長南町	自然環境学習	私たちが生活する身近な場所（水辺）に住む貴重な動植物とふれあい、自然の大切さを学ぶことを目的に実施。

セ　環境保全活動への助成

市町村名	名　称	内　容
千葉市	地域環境保全自主活動事業補助	市内で環境保全活動を自主的に実施している団体に対し、予算の範囲内で直接経費の90%（限度額15万円）を補助する。
	低公害車導入補助事業	H4年４月１日より実施。ごみ収集事業者、貨物・旅客運送事業者などを対象に、天然ガス・ハイブリッドのトラック・バスなどの低公害車の導入費用の一部を補助する。

市町村名	名　　称	内　　容
銚　子　市	きれいなまちづくり環境保全活動費補助	市民等で構成する団体が行う環境保全活動に要する経費の一部を補助する。(H20年3月3日制定)
	環境保全活動表彰	環境保全活動等に関して顕著な功績のあった個人、団体又は事業者を表彰する。(H20年1月制定)
	地域環境保全活動支援	産業廃棄物の不法投棄防止活動を実施している自主警備団に対し支援を行う。(H12年10月制定)
市　川　市	環境活動推進連絡会	環境活動団体間の情報交換・情報提供を目的としたネットワーク。H12年5月発足。会員数は現在34団体。
	環境活動団体支援事業	環境をより良くする市民活動の支援を目的に、環境活動を行う民間団体を支援している。登録した団体を対象に、講師の派遣・教材等の貸出・情報提供等を実施している。登録団体数はH19年度末で30団体。
	雨水貯留浸透施設設置助成事業	地下水涵養、水資源の有効活用のため、雨水小型貯留施設（雨桶取付型、浄化槽転用型）、雨水浸透施設（浸透枡、トレンチ）を設置する市民に助成を行っている。H19年度助成件数は貯留施設35件、浸透施設8件。
	合併処理浄化槽設置整備事業	生活環境の保全と公衆衛生の向上のため、高度処理型合併処理浄化槽を設置するものに対し、補助を行うもので、一基あたりの補助金額は756,000円を限度としている。H19年度の補助設置基数は180基。
館　山　市	河川浄化活動補助金	住民の環境浄化への意識の高揚ときれいな海を取り戻すことを目的とする。
木　更　津　市	小櫃川河口干潟保全事業	市民が小櫃川河口干潟の自然とふれあえるよう、またその保全意識を高めることができるよう自然環境保護団体の活動に対し補助金を交付する。
松　戸　市	松戸市地区環境美化組織連合会事業補助金	地域の環境美化活動を自主的に行うことを目的とした町会・自治会が集まって構成する松戸市地区環境美化組織連合会に対し補助金を交付し、組織の運営及び活動内容の充実を図る。補助金額320千円（H19年度　76町会）
	水質浄化活動団体等に対する助成金	市内河川の水質浄化活動（周辺美化も含む）を支援するため、その活動に要する経費について補助金を交付する。構成員数20名以上（助成金は経費の1/2以内で5万円を限度とする）補助金額550千円（H19年度12団体）
茂　原　市	容器包装廃棄物等回収還元金事業	自治会、子供会、婦人会、老人会、学校及びＰＴＡが行う資源ごみ回収事業に対し、還元金を交付。
成　田　市	地域環境啓発事業助成金	なりた環境ネットワークの会員が行う環境保全活動、環境学習活動、アダプト制度等への助成・支援として、5万円を限度に学習用具・清掃用具等の提供を行う。
	じんかい集積所設置費補助金	じんかい集積所等を新設、改造する区・自治会等に補助金を交付する。
佐　倉　市	佐倉市環境ボランティア育成事業	地域に根ざした市民の自主的な環境保全活動を育成・支援していくため助成。補助対象経費の1/3（限度額30万円）
旭　市	きれいな旭をつくる会補助事業	きれいな旭をつくる運動を推進するため、環境美化活動を推進する地区への助成を行う。
柏　市	雨水浸透ます設置費補助制度	湧水保全及び地下水の涵養を図るため、雨水を地下に浸透させる「雨水浸透ます」を設置する市民に対し、費用の一部補助を実施。一基あたり1/2補助、上限15,000円　設置世帯、設置数：6世帯　12基（H19年度）
	柏市市民公益活動補助制度	ボランティア活動やまちづくりに関連する活動など非営利かつ自主的な市民公益活動を行う団体を対象に補助金を交付。 ①立ち上げ支援（たまごコース）活動事業費の1/2で上限10万円 ②自立支援（ひよこコース）活動事業費の1/2で上限50万円
	柏市住宅用太陽光発電システム設置費補助制度	地球温暖化対策として「住宅用太陽光発電システム」を設置する市民の方に対し、費用の一部を補助。H19年度予算額150万円
	低公害車促進補助制度	当該年度に柏市内に天然ガス自動車及びハイブリッド自動車を新規登録する方に対し、費用の一部を補助。H19年度予算額520万円
市　原　市	市原市水辺美化活動費補助金	市内の河川敷等において、美化活動を行う団体に対し、その経費の一部を交付する。 H16年4月1日施行。
	３Ｒ推進月間ポスター表彰	３Ｒ推進月間（10月）にあわせ、市内小中学校を対象にごみの減量化とリサイクルをテーマにしたポスターを募集し、優秀作品を表彰している。
	清掃事業功労者への感謝状贈呈	清掃事業の推進及び環境美化等に貢献した者に対し感謝状を進呈する。
流　山　市	地球にやさしい住宅設備設置奨励金	地球温暖化対策として、「太陽光発電設備」「太陽熱温水器」「CO_2冷媒ヒートポンプ給湯器」及び「ガスエンジン給湯器」等を設置する市民に対し、奨励金を交付。 H19年度当初予算額400万円、H20年度当初予算額800万円
我　孫　子　市	雨水抑制施設設置補助金	雨水の流出を抑制し、地下水涵養・湧水の回復等を図るため、雨水浸透ます、浸透トレンチ、雨水貯留槽の設置者に対し補助金を交付。 補助額：1施設につき30,000円（施設が2以上の場合は50,000円)を限度。
鴨　川　市	生活環境整備促進事業補助金	地域の環境美化活動を通じ住民の連帯意識の高揚と健康で明るい地域づくりを積極的に実施する団体に補助金を交付する。
	ごみ集積施設整備事業補助金	地域で設置するごみ集積施設に要する費用の一部を補助することにより、環境美化と衛生的な処理の普及を図る。(1施設につき購入費の1/2の額。上限25,000円)
富　津　市	環境浄化対策事業補助金	環境美化活動を積極的に実施する市内4団体に補助金を交付する。
四　街　道　市	環境美化表彰	市内において環境美化活動を行い、その推進に顕著な功績のあった者を表彰することにより、その功績をたたえ環境美化意識の高揚を図る。個人・団体10名以内
袖　ケ　浦　市	住宅用太陽光発電システム設置補助	地球温暖化対策として、環境にやさしい自然エネルギーの普及を目的とし、太陽光発電システムを設置する市民の方に対し予算の範囲内で補助金を交付する。1kW当たり3万円　上限12万円
	雨水貯留施設設置工事補助金	水資源の有効利用の推進及び降雨時における浸水被害の軽減を図るため、雨水貯留施設を設置し又は既設の浄化槽を雨水貯留施設に転用しようとする者に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。
印　西　市	環境保全に関するポスター・標語の表彰	ポスター・標語を通じて、現代の環境及びごみ問題についての意識の高揚、また資源循環の大切さを呼びかけ、ごみ減量化・再資源化を広く推進し、啓発することを目的に実施。
白　井　市	生活環境指導員	市内各地域における廃棄物の排出方法及び不法投棄の現状を把握するために、生活環境指導員を設置。
富　里　市	不用物集積所設置補助金	不用物集積所の設置に要する費用の一部を補助することにより、生活環境の保全を図り、市民生活の向上を図る。費用の1/3の額　上限18,000円/か所

市町村名	名　称	内　容
南　房　総　市	ごみ集積場整備事業補助金	家庭から排出される一般ごみを円滑かつ衛生的に収集することにより環境美化及び衛生的な処理の普及を積極的に推進するため、ごみ集積場を整備する市内の行政区に対し、補助金を交付。1施設につき事業に要する経費の1/2以内とし、25,000円を限度。
い　す　み　市	不法投棄等の情報提供に関する協定	郵便局と不法投棄等の情報提供に関する協定を締結し、不法投棄の監視体制の強化を図る。（旧岬町）
東　庄　町	不法投棄廃棄物処理費補助金	地域の環境衛生を図るため、不燃物置場・リサイクルステーションに不法に投棄された処理経費に対し、補助金を交付する。
	環境衛生改善施設費補助金	地域の環境衛生を図るため、町民が共同で管理する環境衛生改善施設に対し補助金を交付する。
大　網　白　里　町	不法投棄監視パトロール	不法投棄の監視員20名を各地区に配置して不法投棄等の監視パトロールを行っている。
横　芝　光　町	資源ごみ集積所施設整備事業	地域で発生する資源ごみの適正な管理、環境保全を図るため、資源ごみ集積所施設の整備に対して補助金を交付。補助金額は、整備に係る資材費の全額。（上限、新築30万円・増改築20万円）
長　生　村	長生村合併処理浄化槽設置事業費	制定H2年4月1日 生活雑排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽の設置に要する経費について、予算の範囲内において補助金を交付するものとする。
白　子　町	環境美化活動推進事業助成金	南白亀川及び周辺地域の環境美化及び水質保全活動を実施している「南白亀川を守る会」に対し助成金を交付。
長　柄　町	不燃物等収集ステーション整備事業補助金	S51年1月11日告示 町民の生活環境の向上を図るとともに、町の自然環境保全の推進を図る。 施設の設置に要する経費の2/3以内で予算の範囲内 H20年度予算　86,000円（1箇所）
長　南　町	不法投棄等の情報提供に関する協定	町内の郵便局と不法投棄等の情報提供に関する協定を締結し、不法投棄の監視体制の強化を図る。
	不法投棄監視パトロール	不法投棄の監視員5名を各地区に配置して不法投棄の監視パトロールを行っている。
御　宿　町	環境保全推進事業	団体が実施する再資源化に係る有価物回収事業に対し、補助金を交付する。（営利を目的とするものを除く。） 有価物回収重量3円/kg
鋸　南　町	鋸南町ごみ集積場整備事業補助金	家庭から排出される一般ごみを円滑かつ衛生的に収集することにより、環境美化及び衛生的な処理の普及を積極的に推進するため、ごみ集積場を整備する行政区に対し、補助金を交付する。1施設につき事業に要する経費の1/2以内とし、25,000円を限度。

ソ　その他の取組

市町村名	名　称	内　容
千　葉　市	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水汚染対策事業	H11年2月、環境基準項目になったことを契機に、市内の汚染実態を調査した結果、広範囲で汚染が確認されたことから、緊急対策として、浄水器設置補助及び上水道配水管布設補助等を行い、安全な飲料水の確保を図る。
市　川　市	グリーン購入の推進	グリーン購入を全庁的に推進するため、購入に関する指針と方針を定め取り組んでいる。H19年度の取組結果は、調達目標100%を掲げた第1種調達推進品目で、目標を達成したのは50品目であった。
	ＩＳＯ１４００１環境マネジメントシステムの取組み	市役所本庁舎を中心とした19の施設を対象に環境マネジメントシステムを構築・運用している。総合計画、環境基本計画の重点施策・事業を環境マネジメントの対象とし、環境保全を推進する。（市川市クリーンセンターでは、H12年2月からすでに取り組みが推進されている。）
	屋上等緑化補助事業	都市の緑化を推進するとともに、ヒートアイランド現象の緩和を図るため、建築物の屋上、ベランダ、壁面の緑化に対し補助している。H19年度緑化面積は19㎡。
	生ごみ堆肥化容器・電気式生ごみ処理機補助事業	家庭から排出される生ごみの有効利用を図るため、生ごみ堆肥化容器と電気式生ごみ処理機の購入費の一部を補助している。H19年度は合わせて170基分を補助。
船　橋　市	清掃工場におけるＩＳＯ１４００１の取組み	地球環境に与える環境負荷を減らし、環境にやさしい清掃工場を目指すものとしてＩＳＯ１４００１に基づく環境マネジメントシステムを構築し、省資源・省エネルギーに向けた取組を実践している。
	施設見学バス	ごみ減量施設見学バス（リサちゃん号）の運行。町会・自治会・ＰＴＡなどを対象としている。
館　山　市	館山市エコバック普及啓発事業	エコバック（マイバック）を使用することによりレジ袋等のごみの減量化を図ることを目的にH20年度より開始。使用者（モニター）には使用後の削減効果などの報告をしてもらう。
松　戸　市	ポイ捨て対策事業	松戸市安全で快適なまちづくり条例の重点地区である松戸駅・新松戸駅周辺のごみ散乱状況を調査する。
野　田　市	不法投棄パトロール	廃棄物減量等推進員による市内パトロールを実施。
茂　原　市	「エコステージ１」認証取得	環境マネジメントシステムの「エコステージ1」をH17年2月28日に取得。
成　田　市	ＩＳＯ１４００１	H18年3月24日取得。適用範囲は成田市役所本庁舎
	駅前クリーン運動	毎月21日、商工会議所、各事業所、市職員により成田駅周辺から市役所までのごみ拾いを実施。
	緑化推進事業	年2回、自治会等へ花の苗を配布し、緑地に植栽、管理してもらう。
佐　倉　市	ＩＳＯ１４００１認証登録返上	H20年3月8日付けで、ＩＳＯ１４００１の認証登録を返上し、外部審査機関による審査を取りやめた。返上後はＩＳＯ１４００１に基づく佐倉市役所環境マネジメントシステムを運営している。
東　金　市	あしたの森育成事業	人と共生する自然である雑木林を未来の子供達に残そうという趣旨で、市民・企業と協働して15年3月に植樹を行った。その後は草刈りや散策の整備などを続けている。
旭　市	不法投棄監視員の設置	市内における廃棄物、土砂等の不法投棄を未然に防止し、市民の快適な生活環境の保全に資する。 「旭市不法投棄監視員設置要綱」H18年4月1日制定。
	容器包装リサイクル推進委員の設置	容器包装廃棄物の適正な分別排出を推進する。 「旭市容器包装リサイクル推進委員設置要綱」H17年7月1日制定。
柏　市	かしわ環境ステーションの運営	H17年10月開設。市民、市民団体、事業者、教育・研究機関及び市が協働し、環境学習や環境研究、環境情報の交流をすすめる拠点として運営。
流　山　市	春季ごみゼロ運動	H19年5月27日、H20年6月1日に実施
	秋季ごみゼロ運動	H19年11月11日に実施
	江戸川クリーン大作戦	H19年5月27日、H20年6月1日に実施
	路上喫煙及びポイ捨て防止キャンペーン	H19年4月1日～H20年9月30日の期間で16回実施
八　千　代　市	不法投棄連絡員制度	各地域における廃棄物等の不法投棄等の現状を的確に把握し、災害の発生及び自然環境の破壊を未然に防止するために、不法投棄連絡員制度を設置することにより、市民の快適な生活環境の保全に資する。八千代市不法投棄連絡員制度設置規程(H4年10月1日制定)

市町村名	名　称	内　容
我孫子市	我孫子市不法投棄監視員制度設置要綱	廃棄物の不法投棄の現状を的確に把握するため、不法投棄監視員を設置し、災害の発生及び自然環境の破壊のおそれのある不法投棄の未然防止と市民の快適な生活環境の保全に努めることを目的とする。
	路上喫煙防止対策事業	清潔で安全かつ快適な生活環境の確保を目的とするもの。 H17年4月から条例改正を行い、道路などの公共の場所での喫煙を禁止、同年7月から警察ＯＢなどからなる環境安全指導員が駅周辺を中心に違反者に対し口頭指導や過料徴収を行っている。駅周辺にポイ捨てされるタバコの吸殻は条例施行前と比較して約1/4になった。
鴨川市	不法投棄監視員制度	廃棄物等の不法投棄を未然に防止するため、市内各地区へ監視員を設置する。
	ごみゼロ運動	市内全域にて市民・団体等によるボランティア清掃。
鎌ケ谷市	環境美化運動	毎年、関東甲信越静の1都10県で「ごみゼロデー」と定める5月30日に一番近い日曜日に、自治会などが中心となって、市内全域の道路に散乱する空きビン、空き缶などを清掃する。
君津市	不法投棄監視員の設置	市内の各地域における廃棄物の不法投棄及び土砂等による埋立ての状況を的確に把握するため、不法投棄監視員を設置し、災害の発生及び自然環境の破壊の恐れのある不法投棄等を未然に防止し、市民の快適な生活環境の保全に資する。 君津市不法投棄監視員設置要綱　H12年10月1日制定
	環境監視員の設置	市内における廃棄物の不法投棄や土砂等による埋立ての現状の把握、特定建設作業の届出の確認、野焼きの指導など、市民の快適な生活環境の保全に資する。 君津市環境監視員設置要綱　H15年4月1日制定
	ＩＳＯ１４００１	H17年2月23日取得
富津市	不法投棄監視員制度	廃棄物の不法投棄等の状況を把握し、不法投棄の未然防止と市民の快適な生活環境を保全する。
浦安市	ＩＳＯ１４００１の取り組み	H13年11月30日取得 市自らも環境に配慮した事業活動に努め、深刻化する地球環境問題に取り組み地球環境の保全を図る。
	あき地の草刈り指導	浦安市あき地に係る雑草等の除去に関する条例。
	ＥＳＣＯ事業	市の率先行動として、総合体育館へのＥＳＣＯ事業を実施。
印西市	クリーン印西推進運動	月1回、市内各種団体、市内事業所が散乱ごみの清掃活動を行う。
	不法投棄防止対策事業	市職員及び民間警備会社による夜間パトロール、不法投棄監視員による監視活動、広報を利用した不法投棄に関する情報提供・不法投棄対策の呼びかけ・意識啓発、不法投棄防止看板の貸与等を実施。
白井市	ＩＳＯ１４００１の取組	市自らも環境に配慮した事業活動に努め、深刻化する地球温暖化問題に関連し、環境マネジメントプログラムに取り組み地球環境保全を図る。
	ポイ捨て防止キャンペーン	ポイ捨て防止キャンペーンとして街頭啓発を行う。
	ごみ減量、生活排水啓発	10月27日〜28日　ふるさとまつりにおいて、ごみ減量化、マイバック運動及び生活排水対策啓発を図る。
	不法投棄等の情報提供に関する協定	郵便局と不法投棄等の情報提供に関する覚書を締結し、不法投棄の監視体制の強化を図る。
	市民が育てるきれいなまちつくりたい（アダプトプログラム）	市が管理する道路、公園、緑地を活動対象とし、住民や事業者等からなる自発的なボランティアによって、美化活動を行う制度（H19年5月〜）団体2件　企業1件
富里市	アダプトプログラム（里親制度）	一定区間の道路を自らの「養子」とみなし、住民や事業者等からなる自発的なボランティア（「里親」）によって、継続的な散乱ごみの収集を行っていただく制度をH14年4月1日に導入。
	不法投棄監視員	市内の不法投棄等の現状を把握するため、20歳以上の市民の中から不法投棄監視員を委嘱する。H3年から実施。
南房総市	不法投棄監視員制度	不法投棄の現状を把握するため、不法投棄監視員を設置し、災害の発生及び自然環境の破壊のおそれのある不法投棄等を未然に防止する。
匝瑳市	不法投棄監視事業	不法投棄の未然防止・早期発見のため、不法投棄監視員による監視活動を行う。 「匝瑳市不法投棄監視員規則」（H18年4月24日）
香取市	廃棄物最終処分場及び周辺調査	廃棄物最終処分場等からの放流水、周辺土壌、隣接井戸水及び臭気の測定を実施。
山武市	環境監視員設置	廃棄物の不法投棄を未然に防ぎ、市民の生活環境の保全に資する。
栄町	再生品トイレットペーパー（ドラムロール）の作成	役場から排出された、コピー用紙などからトイレットペーパー（ドラムロール）を作成し、イベント時に町民へ配布及びＰＲしている。
東庄町	不法投棄監視員設置	不法投棄を未然に防止し、生活環境の保全に資する。
横芝光町	不法投棄防止・リサイクル啓発キャンペーン	産業まつりで不法投棄監視員、環境美化推進員、環境美化協力員が不法投棄防止とリサイクル意識向上のための啓発物資を配布。
	里親ボランティア	光地域で町内道路周辺に捨てられたごみを里親として登録されたボランティアが回収する活動。
	町内一日清掃	行政区ごとに年2回、捨てられた缶・ビン・粗大ごみ等の回収や草刈りを行う。
	空地の雑草等の除去に関する条例	雑草が繁茂し適切な管理がなされていない空地の所有者に対し、適正な管理を指導する。
一宮町	快適な環境づくり事業	老人クラブ連合会に参加する単位老人クラブ22団体が各地域内で清掃活動を行う。
長生村	不法投棄監視員制度	各地域における廃棄物等の不法投棄の現状を的確に把握するため、不法投棄監視員を設置することにより、災害の発生及び自然環境の破壊のおそれのある不法投棄等を未然に防止し、村民の快適な生活環境の保全に資する。 長生村不法投棄監視員制度設置要綱　H3年11月1日制定
	環境美化推進員の設置	美しく住みよい環境づくりを目指し、住民の環境意識の高揚を図ることを目的とする。 長生村環境美化推進員設置要綱　H10年3月16日制定
	特定環境保全公共下水道事業	生活環境及び公衆衛生の向上並びに公共用水域の保全を図るため公共下水道の整備を行っている。認可計画284ha
白子町	環境保全推進事業	白子町シルバー人材センターに委託し、定期的に町内道路等の不法投棄物収集及び清掃作業を実施。
長柄町	不法投棄監視員等設置	町内における廃棄物等の不法投棄による災害の発生および自然環境の破壊を未然に防止するとともに、不法投棄の現状を的確に把握するため、不法投棄監視員を設け環境行政の効果的な推進を図り、もって町民の生活環境の保全に資することを目的とする。
御宿町	古紙回収	町全戸対象の古紙回収（週1回）、町協力団体による古紙の回収。（月1回）

平成20年版　環境白書（資料編）
発 行 年 月　平成21年３月
編集・発行　千 葉 県 環 境 生 活 部
〒260-8667　千葉市中央区市場町1番1号
電話　043-223-4660
印　　刷　有限会社 津森印刷センター